

# パソコンの基礎 その3

OSS つぼみ学習会

H19.06.19

## ◎ 簡単なパソコンセキュリティ

### 1 パソコンって壊れないの？

パソコンはデリケート

最新電子技術・精密加工技術(ハード技術)、ソフトウェア技術の結晶・集合体

ハード類は = HDD、CD、DVDは特に衝撃に弱く、埃にも弱い。  
高電圧や高温にも弱く、ディスプレイ表面は壊れやすい。

ソフト類は = ソフト破損の主原因はパソコンの使用者のちょっとした不注意から！  
コンピュータウイルスによる破損も起こります。  
電氣的衝撃で誤動作することがあります。

今のパソコンは、同時に幾つものデータを開いたり、複数のソフトを使うことができます。

メモリーが十分に搭載されていることが必要です。

メモリーが機能できる範囲を以上に仕事量が増えると、

パソコンの動作が遅く・重くなったり、

場合によっては、正しい動作ができなくなってしまいます。

動作が遅くなったかなと感じたら、使わなくなったソフトはこまめに閉じます。

一つのソフトであっても一日いっぱい連続して使い続けていると、

メモリー上のスペースを使いすぎ不安定になることがあります。

特にワープロや画像処理ソフトで、大容量のデータを使い続けているときなどは、

念のため作業中のデータをいったん保存し、ソフトも終了させた後、

いったん電源を切り再度、起動しなおして使ってください。

### 2 アレー！昨日作ったファイルはどこだろう！？ 見つからない、どうしよう！

せっかく作ったファイル！、再度使おうとしたけれど、どこにも見つからない。

このような経験はありませんでしたか？

パソコンに不慣れなせいで、

保存場所を確認・認識しないまま、ファイル名も同様に認識していないまま、

保存操作をしてしまったのです。 探すで見つけることができます。

通常ではハードディスクから完全に消えることはありません。が、注意があります。

前に作ったファイルを参照して別物を作り、その新しいファイルを保存する場合、

というっかり「上書き保存」を行うと、元のファイルは、完全に消えてしまいます。

**パソコンに慣れるまでは、「マイドキュメント」フォルダの中に保存しましょう。**

### 3 パソコンが変だ！？ どうしよう！

パソコンを使っているうちに、なにか変だ、動かない、と感じたら

まず落ち着きましょう！ ゆっくり深呼吸をして、そしてメモの用意をしてください。

パソコンの画面や、ランプ等、音、周辺装置の状態などをゆっくり確かめてください。

・砂時計アイコンはありませんか？

しばらく待ってみましょう！

・小さなウインドウが出ていませんか、小さなウインドウ隠れていませんか？

画面やタスクバーを良く見てください。

出ている、隠れているウインドウを順番に閉じてみましょう。

- ・ なにかのランプが点滅、普段点灯していないランプが点灯していませんか？  
何のランプなのか確認し、その原因を取り除きましょう  
HDDのランプなら、しばらく(数分、場合によっては数時間)待ってみましょう
- ・ なにか音が鳴りませんでしたか、鳴り続けていませんか？
- ・ 周辺装置はどうですか？

「何をしているときに」、「どのようになってしまい」、その後「どんなことをした」のか可能な限り詳しくメモしてください。

これらの全てのことがパソコンを復旧させる上で大切な鍵になるのです。

自分でパソコンを回復させようと何かを行う場合は  
落ち着いてゆっくり待ち時間をとりながら、画面状態やランプ等の状態、音などを確かめつつ、そして一々メモをとりながら作業を進めてください。

#### 4 うっかりミス、したこと無い？ 私もしょっちゅう！

**！知らず知らずに、マウスをクリックしていた、とか！**

力み過ぎていつの間にかクリック、ドラッグをしてしまった。

マウスが少しずれて、目的とは別の部分をクリックしてしまった。

**！キーボードのダブルタッチ（指先がふるえて）、押し続け！**

1回押すだけだったのに、震えて2、3回押してしまって

ちょっと別の事に気がそれたり、つい！うとうと して？

押すつもりは無かったけれど、はっと気付いたら同じ文字が幾つも並んでいた！

文字が入り込んだ場合は、編集キー(BackSpace、Delキー等)で消してください。

**！イージーミスは恐れることはありません！**

もし、急に予期せぬ画面に変わったりした場合！

ミスったかな、と早く気づく事が一番大切です。

そんなときは、前にも書きましたが、ぜひ深呼吸を、落ち着いたら、

おもむろに画面の中を見回してください。

新しい画面が開いてしまった場合は、右上の「閉じる」ボタンをクリックし閉じる。

「OK」とか「はい」の入力を催促するような、小さなウィンドウも「閉じる」です。

メニューなどが出た場合はキーボードの左奥にある「Esc」キーで、操作を取り消してください。

ソフトによっては、今の操作を取り消す「元に戻す(アンドゥ)」ボタンを使いましょう。

**ミスの中で、一番恐ろしいことは！**

**パソコンやソフトにとって大切なファイル類を、知らぬ間に、無意識で**

**どこかへ移動してしまったり、消してしまうことです。**

予期せぬ突然の削除操作画面、削除の確認画面が出ます。

間違っても「yes」、「OK」、「はい」を、クリック(入力)しないようにしてください。

「閉じる」、「いいえ」、「No」、「キャンセル」等で操作を取り消してください。

#### 5 パソコンから人への、メッセージ、悲鳴！ パソコンも文句を言いますよ。

パソコンも、あまりにも酷使すると疲れ果てて悲鳴を上げます。

パソコンは利口なようですが、実は融通が利かない厄介な面も持ち合わせております。

あなたのちょっとしたうっかりミスも、素直に受け入れ実行してしまいます。

その結果、ダンマリ状態に陥ることがあります。

結果として利用者には、パソコンが変だ、動かない、などの症状としてあらわれます。

パソコンは作業を進めているとき、次のようなメッセージを出しているときがあります。

「今はこのような状態ですよ」 「そのとうり実行してもよいのですか」  
「疲れてきました」 「仕事が多すぎます」  
いつこれらのメッセージが出るかわかりません。見逃さぬようにしてあげてください。

メッセージが現れる場所は、

パソコンのあちこちにあるランプの色の变化や点灯、滅灯、点滅  
画面上に現れる小窓と、タスクバー  
スピーカーからの音、パソコンの動作スピード

これらパソコンからのメッセージを、見逃さないように少し気を配ってください。

我々はいっせいで一生懸命に仕事を進め、そのことに熱中しすぎ、結果として

パソコンからのメッセージや悲鳴を見逃してしまうことが多くなります。

自分の作業のつもりで行った操作が、パソコンからのメッセージの回答として扱われて大変です。

## 6 最終手段 **！最終的な方法！**

もし、パソコンが動かなくなった、キーもマウスも受け付けなくなってしまった。

(フリーズ状態、だんまり、固まった、ハングアップ、などといいます)

最終的な方法！ **「Ctrl」 + 「Alt」 + 「Del」**

(「Ctrl」 keyと「Alt」 keyを同時に押しながら「Del」 keyを押す)

**「Ctrl」 + 「Alt」 + 「Del」** を実行し待っていても、変化が無いときは、

**電源ボタンをしばらく(5秒程度)押し続けてください。パソコンの電源が切れます。**

1分以上待ってから、電源を入れましょう。

ハードディスクの検査、修復の画面が出てから(結構時間がかかります)

WINDOWSの起動が行われ、ディスクトップ画面が表示されます。

もしも、「セーフモード」という状態で立ち上がったならば、起動完了後、正しい終了手順で  
WINDOWSを終了させてください。たいていは回復しています。(完全とは言い切れない)

それでもダメなら、先輩に、買ったお店へ相談！

相談する場合、特に大切なことは、

- ・どんなソフトで(ソフト名)
- ・何をやっているとき(使っていた状況をできるだけ詳しく)
- ・どんな状態になったか(画面、ランプ等、キーボード等周辺装置を含めて)
- ・その後、どんなことをしたのか
- ・さらに、装置の型式名、OSの名前とバージョン、メモリーの搭載容量、周辺装置名等

これらのほか気が付いたこと(音がしたとか、周辺装置が止まってしまったとか)を、メモする。

これらの内容を説明しながら相談してください。

ただ単に、「**パソコンが変なのですが**」だけでは、相談を受けた側でも困ってしまいます。

## 7 大事なものは

パソコンの不調、破損に備えて、**大事なデータファイルは、時々バックアップしましょう！**

バックアップ先は

ファイル名を変えて同じところ(フォルダ)に

別の内蔵ハードディスクドライブ(Dドライブ)

外付けハードディスクドライブ(USB接続が楽)

CDやDVDに(書き込み可能な装置が必要・最近の内臓)

USBフラッシュメモリー(バックアップというよりはデータの携行用)

## 8 パソコンを守りましょう **！インターネットを使わなければ、パソコンもつまらないですが！**

無防備なままのパソコンをインターネットに接続すると

ウィルスやスパイウェアなどの悪意のソフトに感染します。

パソコン破損、データ破損、情報の流出、**悪意の手先(中継基地・踏み台)**

●パソコン犯罪の加害者(被害者ではないですよ!)にならないために!

?なぜ? 自分が犯罪加害者なの、なにもしていないのに?!

買ったままの状態のパソコン=なにもしていない=無防備=感染の危険大  
何もしていないから、悪意の手先(中継基地・踏み台)になってしまったのです。

悪意の手法の主なものは

なりすまし = 利用者に有用な情報であるかのように装って(なりすまし)、メールを開かせその  
その中に潜ませた、悪意のソフトをパソコンに埋め込む方法です。

セキュリティーホールへの攻撃 = ソフトウェアの不完全部分を悪用してそこからパソコン内へ、  
悪意のソフトを送り込む方法です。

●!ならば、どうしたらいいの?

- ・先ず実行 = 最新版のウィルス対策ソフト(セキュリティーソフト)の導入
- ・常に注意し実施(自動) = OS等の最新版への更新とウィルス対策ソフトの最新版への更新
- ・時々実行 = ハードディスク等のウィルスチェック
- ・年一度 = ウィルス対策ソフトの利用契約の更新(有料) (無料のものもある)
- ・毎回の心掛け = パソコンを使うとき起動し、パソコンから離れるときは終了する

特に、インターネット常時接続のパソコンは、使っていないときは電源を切ること。  
常時接続のパソコンは、電源が入りパソコンとして立ち上がっていると、常に外部と接続されて  
いることから、セキュリティーソフト未対応の悪意の攻撃が入り込む可能性があるからです。  
(悪意のソフトは日々新しく作られ、ソフト自身が勝手に作ることもあります。)

◎ セキュリティー参考ホームページ

- ・IPAセキュリティーセンター <http://www.ipa.go.jp/security/index.html>
- ・警察庁セキュリティーサイト <http://www.cyberpolice.go.jp/>

以上